

令和6年度 第1回磐田市行政経営審議会 議事録

【日 時】 令和6年10月28日（月） 15時00分から17時00分まで

【出席者】 委員13名

井上佳子 委員、大島たまよ 委員、岡本一夫 委員、佐々木信仁 委員、佐藤祥司 委員、砂川利広 委員、
田口敏行 委員、永井雅也 委員、深田研典 委員、藤崎淳 委員、堀川知廣 委員、矢田央生 委員、山越弘晃 委員

事務局8名

企画部長、政策推進課長、政策推進課課長補佐、DX推進課長、DX推進課DX行革グループ長、政策推進課担当3名

1 開会

2 定足数の報告（委員総数14名中13名の出席により会議成立）

3 会長挨拶

4 委員自己紹介

5 議事

・「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第2期磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和5年度取組結果報告
及び地方創生関連交付金の効果検証について

6 グループワーク

7 会長講評

8 閉会

議事:「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第2期磐田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和5年度取組結果報告
及び地方創生関連交付金の効果検証について

【質問事項】

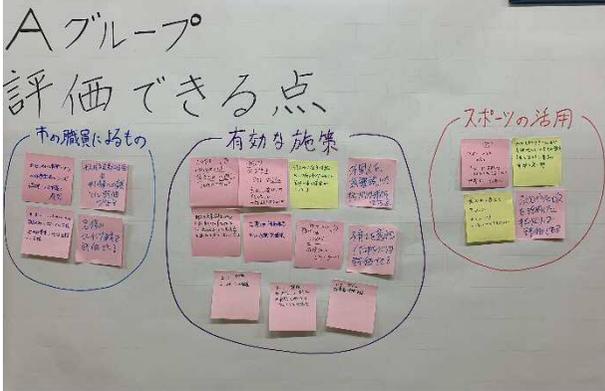
質問事項	回答
<p>目標値、KPIを作っているが、目標値の設定にあたって、市の基本的な考え方を教えてほしい。</p>	<p>総合戦略のKPIは、令和2年度の実績をもとに、事業のそれまでの進捗とかこれからの目指す角度を見ながら、各所管課と協議しながら令和8年度に達成すべき目標値を設定している。</p> <p>所管ごとの思いで決めているというところがあり、根拠に基づき、統一的に、これぐらいの角度で上がっていくものを想定しようという設定方法ではない。</p> <p>ただし、令和9年度からの計画を作っていく際には、近年EBPM(根拠に基づく政策立案)が言われているが、将来を見据えて、どこを目指してやっていくうちの、次の5年間の目標はこう設定するというところの根拠づけは重要だと考えているため、今回はEBPMに基づき、もう少し深く考えた設定をしていきたいと考えている。</p>
<p>資料を見ると、新規雇用者数が増え、転入者も増えているが、出生率や出生数は減っているとある。結果的に最終的な人口はどうなっているか。</p>	<p>人口はずっと減少傾向にある中で、令和5年度については、16万7,375人から16万6,307人と、1年で1,068人減少している。内訳としては、日本人は1,586人の減、外国人が518人の増、トータルで1,068人の減となっている。</p> <p>転入超過の累計数というのをKPIにしており、658人の転入超過と今なっているが、これは令和4年度から令和8年度までを累計して700人転入超過に持っていきたいという目標で、初年度にいきなり707人転入超過となったが、令和5年度は49人の転出超過となっている。令和5年度は自然減、社会減と、両方の減で、かなり人口的には苦しい状態にある。</p> <p>県西部全体に言えることだが、人口的には、20歳から35歳までの年代で見ると、男性がかなり超過していて、女性が少ない。男女差が激しいというのが、湖西から菊川ぐらいまでの共通した傾向で、これは県中部東部にはあまりない傾向。製造業の新規の採用とかで多くの男性が入っているのではと想定しているが、それに比べると、女性の東京とかからの入りとか戻りというところについては、課題があるというふうに捉えている。</p>
<p>資料全体を通して、人数は、外国人も含んでいるという前提でよいか。</p>	<p>お見込みの通り、外国人も含めた人数で記載している。</p>

【全体での意見交換】

分野	委員意見
<p>県西部地域のまちについて</p>	<p>浜松市はちょっと別格ということで除いて考えるが、県西部地域ということで、磐田、袋井、掛川、このあたりは比較的同じような傾向にある。それぞれ住居はここに置くが、働きは隣の市へ行っているというような地域性がある。</p> <p>特徴としては産業構造。ヤマハ発動機さんをはじめ、大企業があり、その下請の企業である部品のメーカーとかがしっかり支えて、そこに働きに行っている方が住宅を建てる。この辺、平地が多いので、まだ建てる余地があるってところで、結構安定した生活ができていく地域である。それに加え、外国人が雇用者として、人手不足の中で非常に増えているという地域となっている。</p> <p>人口減少があまり問題になっていないというところは唯一この辺でいうと袋井市となるが、外国人が増えているという理由である。多くの市町で人口減少している中で、非常に珍しい。県西部地域についてはざっくり言うとそんな状況。</p>
<p>金融機関から見た磐田市の特徴について</p>	<p>私の個人的な私見で感じるのは、やはりもう製造業のまち。先ほど袋井や掛川という他の市町の名前が出たが、その中でも四輪や二輪を主体とした製造業が集積するまちであり、製造業に強いまちというようなイメージを持っている。</p> <p>先ほど外国人の話が出たが、やはり日本人の社会減を主因とした人口減少の中で、こちらで記載されている転入超過のところについては、「特に日本人の定住や転入超過を図れるよう・・・」ということで、日本人にある程度特化したような書き方をされているが、袋井市をというわけではないが、外国人の方を含めた、転入超過、人口増、そういったものを意識していったほうがいいのかなという感じは受けている。</p>
<p>子育てについて</p>	<p>住みやすいまちということで保育園側から考えると、ゼロ歳のお子さんを持っていても、夕方遅くまで働かされている人が多いというのは課題だと感じている。企業の皆さんには、3歳までは育児短時間の積極的な活用を推進をお願いしたいと思っている。</p> <p>それから、保育園入所に当たっては、今完全にAI化されていて、48点とか53点とかって点数、数値で測るようになっていく。しかしながら、数値だけでは測れない、ファジーな部分ってというのはどうしても存在するので、それがデジタルになったことによって捉えにくくなっているという問題点が出てきている。</p> <p>また、点数の加算については、地域によって差があり、エッセンシャルワーカーの場合は、磐田市は15点ないし20点ぐらい加算をしてくれるが、浜松市では3点しか加算されない。市外へ働きに出るようなケースも多いので、自分の市だけで考えるのではなくもっと広域な考え方ができないものかなって感じている。</p>

【グループワーク】

議題：総合戦略の取組について評価できる点、課題改善点について

■Aグループ 【テーマ】 基本目標1(みんなが活躍できるまちづくり)、基本目標2(移住・定住したくなるまちづくり)	
評価できる点	写真
<p>【市の職員によるもの】</p> <ul style="list-style-type: none">・おせっかい事業により市内事業者のニーズ。把握→支援策へ展開。・がんばる企業応援団→中小企業への支援として評価。・次世代産業立地促進事業への支援。・カーボンニュートラルへの取り組みに対する支援。・各種のマッチング事業。 <p>【有効な施策】</p> <ul style="list-style-type: none">・新たな企業立地 15 件。(15 件で十分か?)・積極的な企業誘致の推進。8 社、5.6ha。⇒ビジネスマッチング、労働の場の確保。・新たな産業創出のために企業(スタートアップ)と開業を区別した支援策を進める方が良いのでは。・充実した補助金等中小企業支援策。・就労している障がい者 1,188 人。目標値に近い good。・UIJ ターンの促進。・外国人を意識したまちづくり、子育てを意識したまちづくり。・カーボンニュートラル実現に向けてのマッチング交流会。・就農者の定着促進。 <p>【スポーツの活用】</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツのまち No.2。今後 No.1 にするには何をしたらよいか。世界 No.1 にしたい。・プロスポーツチーム(ジュビロやブルーレウス)が本拠地としており、その優位性を生かした事業。・磐田市の良さをアピール。スポーツ。住みやすさ(イベント)。	 

■Aグループ 【テーマ】 基本目標1(みんなが活躍できるまちづくり)、基本目標2(移住・定住したくなるまちづくり)

課題・改善点

【外国人との共創】

- ・外国人に勉強する機会を多くしたい。
- ・外国人就労者との共生。

【スポーツ】

- ・スポーツクラブチームの強化→観戦の招待があっても負けゲームは見たくない。
- ・スポーツ資源の施策への展開。
- ・プロチームを軸とした市の具体的活性化策が不明。例えば数年後に球場の新設等(長崎・広島等)

【中心市街地】

- ・磐田市らしいまちはどんなものか?どんな人々に住んでほしいか絞り込んで?
- ・駅前・周辺を魅力的な景観にしたい。駅周辺のお店が少ない。駅周辺の活性化が必要。
- ・駅前(北・南)の活性化策はイベント開催以外であるか。次第に街が変わっていく必要がある。
- ・企業があっても磐田市に住みたいと言う人が少ない。

【空き家・土地の有効活用】

- ・空き家バンク。空き家は景観を悪くする。治安が不安定。平常時に活動もっと進めたい。
- ・荒廃農地の支援。農業者以外の農地利用者も活用できるように。山林の活用も出来る取組み。
- ・若者(特に女性)に住みたくなるまちにするには?
- ・住居環境(マンション建設)など検討したらどうでしょう。

【各種施策】

- ・できればもう少し詳しいデータが必要。→根本の原因にアプローチした施策。
- ・「いわた PR 大使」の更なる活用。各種施策との結び付け。SNS の更なる活用。
- ・UIJ ターン事業の実績(効果)を検証し、より成果を上げるための施策検討。
- ・磐田市で働く企業が日本、世界でどう活躍しているのかアピール。
- ・ふるさと納税で大学に寄付をするしくみを作れないか。地域に大学があることは財産。
- ・強い産業づくりなどどんな産業を強化したいか?絞り込んで?

写真



■Bグループ 【テーマ】基本目標3(若い世代が家族を増やしたくなるまちづくり)、基本目標4(子どもたちが健やかに成長するまちづくり)、基本目標5(安全・安心と住みよさを実感できるまちづくり)

評価できる点

【結婚・出産】

- ・公営婚活事業マッチング 10 組。
- ・出産後からの継続したフォロー体制があること。

【保育園・小学・中学】

- ・保育園待機児童ゼロを継続している。
- ・年度途中の保育施設入所が可能となる。
- ・GIGA スクール構想の活用。→PC 活用により、合理的配慮をうけることが出来ているこどもの増加。
- ・放課後児童クラブの増設と夏休みの臨時クラブ対応。
- ・不登校児童増加の対応。
- ・ジュビロ、ブルーレヴズ一斉観戦。→ふるさとへの誇り、愛着。

【相談機能】

- ・子育て家庭が相談しやすい組織・制度。←こども家庭センターの充実。

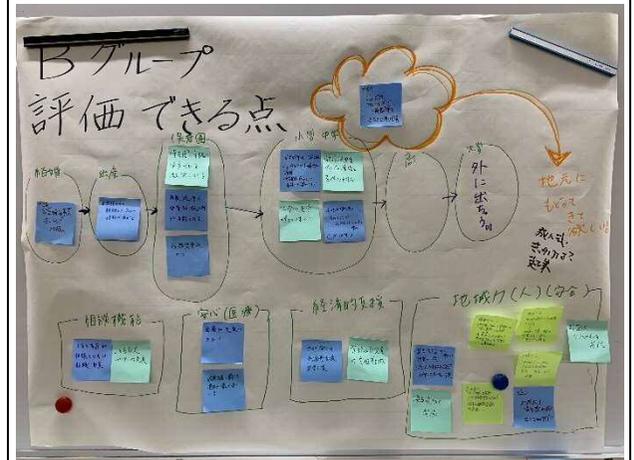
【安心(医療)・経済的支援】

- ・医療支援に関する項目が増えて来ている。
- ・コロナ禍での給食費支援。就学支援。

【地域力(人)(安全)】

- ・流域治水協議会設置。←令和4～5年の水害ボランティア実績から立ち上がったと思われる。
- ・水災害対策プラン策定。
- ・海岸堤防の整備。
- ・地域の主体的な取り組みを支援。→地域で事業、活動を活発化するための具体的な内容を。
- ・地域ボランティアによる高齢者移動支援←実態にあった施策
- ・自治会加入世帯数。市民活動団体登録数。目標の超過達成が素晴らしい。
- ・地域おこし協力隊の採用。←ヨソもののアイデア。・外国人アンバサダーの選任。

写真



■Bグループ 【テーマ】基本目標3(若い世代が家族を増やしたくなるまちづくり)、基本目標4(子どもたちが健やかに成長するまちづくり)、基本目標5(安全・安心と住みよさを実感できるまちづくり)

課題・改善点

【就職(企業誘致)】

- ・帰ってきたくなるまちづくり=企業誘地が必要。
- ・やりたい仕事(イメージもてるもの)→もう少し幅があると…

【結婚・妊娠】

- ・若者が結婚への夢を持っていない。・出生数。妊娠中のサポート(中絶率…)
- ・合計特殊出生率。←目標値自体が高すぎたのではないか。・経済的負担の本質は？

【保育園・小学校・児童クラブ】

- ・保育園の待機→年度末はあり。時間数(就業)やフリーで仕事をしている人の使いやすさ。
- ・不登校児が多い(浜松・袋井比較)⇒不登校になる前の対応策を。5才児検診のギガ(仮想空間)活用。
- ・放課後児童クラブの充実←なぜ全て民営化?・待機児童の解消。・児童クラブ卒業後の居場所作り。
- ・放課後児童クラブの自由度。担当者の不足。(ケア児に手が掛かる)
- ・学校部活と地域クラブのバランスは？

【地域の力とコラボ(地域おこし協力隊・外国人含む)】

- ・学校と地域活動との連携。地域で子育てする環境作り。防災意識の醸成も。
- ・定年前後から地域で活動できる仕組み作り。地域活動の担い手育成・確保。
- ・外国籍の方のコミュニティ作り。外国人とのコミュニケーションの機会を積極的に…相互理解。
- ・地域おこし協力隊は一人?今後増やすのか?・磐田市というくりからもっと広域な行政へ。

【地域の施設整備。育つ環境づくり】

- ・施設の老朽化。・新エネルギー対策。環境政策。→次世代の暮らしを見据えて。
- ・体育館(冷房あり)貸出やテニスコート等運動できる場所。・道路インフラのメンテを指定管理者に。

【地域・安心のアピール】

- ・こども若者家庭センターの充実が市民に伝わっている?・ふるさと納税活用のPRは?
- ・市民活動団体の内容(傾向)→どんな生活を求めている?・定期健康診査受診率の低下。原因分析。

写真

